

平成25年度決算概要

下水道事業会計は、下水道使用料などを財源とした**独立採算**の会計であり、一般の会社の会計方式に似た方式をとっています。そして、内訳は**収益的収支**と**資本的収支**に分けられます。

新潟市下水道キャラクター



水玉ぼうし

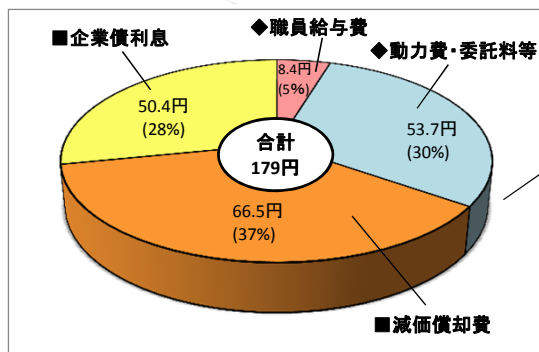
下水道事業の現況

区 分	平成25年度	平成24年度	比 較	
			増(△)減	率
行政区域内人口	803,336人	805,767人	△2,431人	99.7%
処理区域面積	12,111.17ha	11,630.81ha	480.36ha	104.1%
処理区域内人口	664,819人	651,827人	12,992人	102.0%
年間総処理水量	126,989,082m ³	125,441,341m ³	1,547,741m ³	101.2%
年間有収水量※	69,967,111m ³	70,206,231m ³	△239,120m ³	99.7%

※「年間有収水量」とは、**下水道使用料の対象となった水量**のことです。



下水道1m³をきれいにする費用の内訳だよ。
下水道施設の維持管理や借入金の返済などに使われているんだよ。

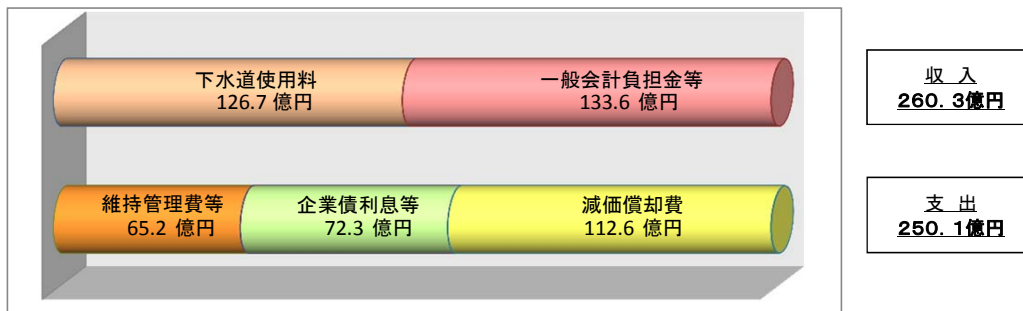


◆維持管理費 (62.1円)
汚水処理原価のうち、施設の維持管理などにかかる経費を示します。
左表では**職員給与費**、**動力費**、**委託料等**になります。

■資本費 (116.9円)
汚水処理原価のうち、企業債利息や減価償却費にかかる経費を示します。
左表では**企業債利息**、**減価償却費**になります。

収益的収支の概要

※収益的収支とは、**下水道関係施設の維持管理などの経営**に関するお金のことです。



◆収益的收入 (単位:千円)

科 目	金 額
第1款 事業収益	26,029,619
第1項 営業収益	21,553,206
第2項 営業外収益	4,468,980
第3項 特別利益	7,433

◆収益的支出 (単位:千円)

科 目	金 額
第1款 事業費	25,014,014
第1項 営業費用	17,776,596
第2項 営業外費用	7,230,344
第3項 特別損失	7,074
第4項 予備費	0

用語説明

営業収益:下水道使用料や市の一般会計からの雨水にかかる負担金等のこと

営業外収益:市の一般会計からの補助金等のこと

特別利益:下水道の経営活動とは直接関わりがない、特別な要因で発生した臨時的な利益のこと 例)固定資産売却益

営業費用:下水道関係施設の維持管理費と減価償却費等のこと

営業外費用:企業債(建設するときに借りたお金)の支払利息等のこと

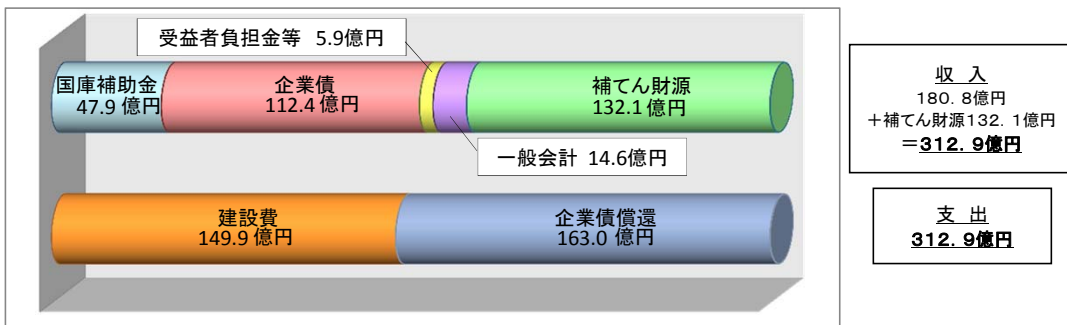
特別損失:下水道の経営活動とは直接関わりがない、特別な要因で発生した臨時的な損失のこと 例)固定資産売却損



営業外費用中企業債利息7,214,971千円の財源にあてるため、
企業債162,600千円を借り入れました。

資本的収支の概要

※資本的収支とは、施設の建設や財務活動に関するお金のことです。



◆資本的収入 (単位:千円)

科 目	金 額
第1款 資本的収入	18,080,596
第1項 企業債	11,239,000
第2項 国庫補助金	4,791,309
第3項 他会計補助金	1,460,214
第4項 負担金	590,073

◆資本的支出 (単位:千円)

科 目	金 額
第1款 資本的支出	31,291,918
第1項 建設改良費	14,987,425
第2項 企業債償還金	16,300,712
第3項 国庫補助金返還金	3,781

用語説明

企業債:施設の建設・改良等のために借りたお金のこと

国庫補助金:国から交付されるお金のこと

他会計補助金:一般会計から下水道事業会計に繰り入れたもの

負担金:下水道の整備によって環境改善が図られ、利便性や快適性が向上することにより負担していただくお金のこと

建設改良費:下水道施設(下水道管, ポンプ場施設, 処理場施設)の建設や改良・更新にかかる費用のこと

企業債償還金:企業債の返済金のこと



資本的収入額が資本的支出額に不足する額13,211,321千円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額359,200千円、当年度損益勘定保留資金11,421,983千円及び当年度利益剰余金処分額1,155,552千円で補てんし、なお不足する額274,584千円は、当年度同意済企業債の未発行分をもって、翌年度に措置しました。

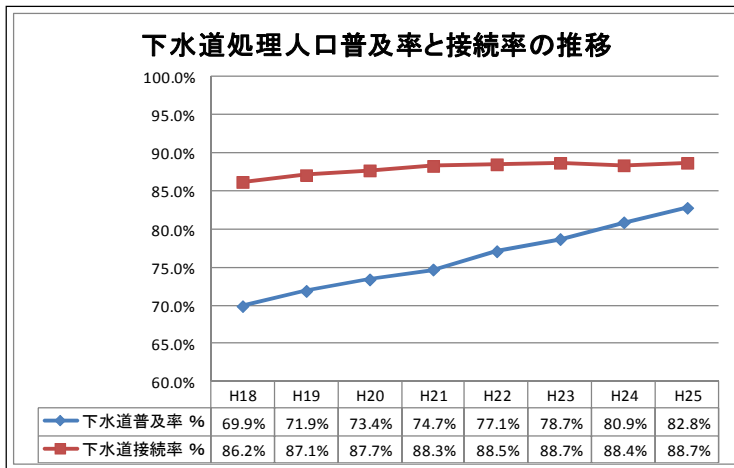
平成25年度 主な業務実績

- ① 汚水処理区域・接続世帯の増加
 下水道処理人口普及率 **82.8%** (H25増加数 6,458世帯 H25末処理区域内世帯数 298,692世帯)
 下水道への接続率 **88.7%** (H25増加数 6,659世帯 H25末接続世帯数 265,030世帯)
- ② 「新潟市中期下水道ビジョン[改訂版]」の策定
 対象年度H26～H30, 新たな目標設定等を盛り込む
- ③ 雨水浸水対策
 雨水幹線の整備 鳥屋野排水区, 黒崎山田排水区, 豊栄葛塚排水区など
 雨水ポンプ場の整備 白根水道町雨水ポンプ場土木工事など
 背割排水路の整備 整備延長 H25実績 約7.2km
- ④ 再生可能エネルギーの活用
 消化ガス発電施設の本格稼働及び他のバイオマスとの混合消化の実証実験を実施
 下水熱利用の実証実験として, がんセンター前バス停に融雪装置を設置
- ⑤ 新潟市下水道総合地震対策計画に基づく幹線管渠の耐震化工事
 H25 竣工分 鳥屋野幹線 414m, 白山幹線 82.5m など
- ⑥ 総合的な汚水処理施設整備
 ・管渠延長の拡大 污水管・合流管の整備延長 34.6km
 ・農業集落排水施設の公共下水道への接続 江口・西山処理区(1,268世帯)
 ・公設浄化槽の推進 累積設置基数 H25末 83基 H25新規設置 41基 (H24新規 26基)

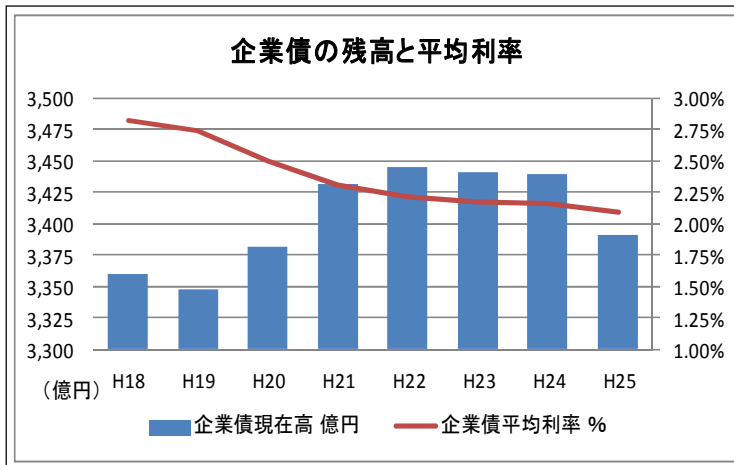
主な経営指標

※政令市平均は新潟市を除く

指 標	平成25年度	平成24年度	平成23年度	政令市平均 (平成24年度)
【1 下水道処理人口普及率】 (％) <small>[処理区域内人口÷行政区域内人口×100] 全体の人口のうち、どれくらいの人が下水道を利用できるようになったかを示します。</small>	82.8	80.9	78.7	93.5
【2 下水道への接続率】 (％) <small>[水洗便所設置済人口÷処理区域内人口×100] 整備済の区域において、どれくらいの人が実際に下水道に接続しているのかを示します。整備途上の段階では率が上がりにくい傾向がありますが、率が低くなるほど施設の有効利用及び下水道使用料収入の観点から好ましい状態とは言えなくなります。</small>	88.7	88.4	88.7	96.7
【3 下水道使用料(20㎡あたり)】 (円) <small>平均的な一世帯あたりの1ヶ月の使用水量である20㎡の汚水を排水した場合の下水道使用料(税込み)です。</small>	2,908	2,908	2,908	2,073
【4 使用料回収率】 (％) <small>[使用料収入÷汚水処理費×100] 汚水処理に要した経費をどれくらい下水道使用料によって回収したかを示します。数値が高いほど、汚水私費の経費負担の原則に近い経営状況となっていることを示します。</small>	96.3	96.1	93.2	102.8
【5 企業債未償還残高(市民1人あたり)】 (円) <small>[年度末残高÷行政区域内人口] 全市民1人あたりが負担する企業債未償還残高を示します。</small>	422,144	426,951	426,370	261,415



新潟市の普及率が
1.9%も増えたね☆



年々、企業債が
減ってるね。

